

【大会特別規則】

2022年（公財）日本自転車競技連盟の規則を適用する。

第1条（200mフライング・タイム・トライアル）

- (1) 周回は2周半（バックストレッチ側からスタート）とし、最後の200mについて計測を行う。

第2条（ケイリン）

- (1) 333.33mのトラックを5周で行う。
- (2) ペーサは残り2.5周回のバック側中央線で離脱する。
- (3) 1回戦の各組2位までが決勝へ進む。
- (4) 敗者復活戦は、1組のみで行い、上位2名が決勝へ進む。
- (5) 7位以下の順位決定戦は行わない。

第3条（タイムトライアル、インディヴィデュアル・パーシュート）

- (1) ホーム、バックの中央線から2名による同時スタートとする。
- (2) タイムレースによる一発決勝とし、追い抜きがあった場合でも両者完走し、タイムを計測する。
- (3) 相手競技者に追い抜かれた競技者は、その直後を追走することができない。また再度追い抜きをすることもできない。その場合は、失格とする。

第4条（チーム・スプリント、チーム・パーシュート）

- (1) ホームからの単独スタートとする。
- (2) タイムレースによる一発決勝とする。
- (3) 出走選手リストを当該競技開始45分前までに書面（メモ書きでOK）で招集に提出すること。

第5条（スクラッチ）

- (1) 出走位置は、スタートリストの奇数番号がフェンス側、偶数側がインコース側で指定された位置に整列すること。
- (2) 一発決勝とし、距離は8Km（24周回）とする。
- (3) 認められる事故が起きた場合のニュートラリゼーションは4周回まで与えられる。
- (4) ニュートラリゼーション中にレースが最後の1Km（最終3周回）に入った場合は、競走に復帰できない。

第6条（バイク・インスペクション）

- (1) 出走10分前までに招集を終了させること。バイク検査はセルフチェックとする。
- (2) ジュニアのギア比制限はしない。

第7条（セレモニー）

- (1) 表彰式には、公式な服装で臨まなければならない。
公式は服装とは、競技用の装備またはチームウェアを指す。なお、サンダル履きは厳禁とする。

第8条（その他）

- (1) タイム・レースにおいては、競技中各チーム1名までコーチとしてトラック内の立ち入りを認める。
- (2) 主催者の撮影許可を受けていない者のトラック内での撮影は禁止する。
- (3) 次発送の競技者は、発送準備を整えてスタート付近に待機すること。
- (4) スターティングマシンを使用するスタートでは、50秒のカウントダウンを行う。
- (5) フィニッシュした選手、除外された選手は、速やかにトラックから離れ、インフィールドに退避すること。
- (6) ケイリン及びスクラッチでインコース側からスタートする競技者のホルダーはチームより供出すること。
- (7) ゼッケン・ホルダーを使用する場合は、ゼッケンの折り込み、変形等は認めない。（ペナルティの対象）
ゼッケン・ホルダーに収まらない場合は、ゼッケンを安全ピンで止めること。

以上

チーフコミッセール 清水 一孝